

# 週報 太田中央ロータリークラブ

2017年6月2日(金) 通算第1182回 通常例会



会長挨拶

会長 大谷 祐三

## 「職業奉仕について」

職業奉仕を理解するには「ロータリー運動は倫理運動である」ことを理解しなければなりません。「ロータリーのロータリーたる所以は、職業奉仕の実践にあり」と言われています。このように言うと、職業奉仕は難解である、難しいと言われる。確かに理解に苦しむような点があります。まず「ロータリー運動は倫理運動である」の「倫理」という言葉ですが、この言葉が解からなければ理解できなくなります。倫理とは「人が正しく歩む道」です。人を泣かせるような行為をしてはいけない、人を欺いてもいけない、非人道的、非社会的行為をしてはいけない、世のため人のために尽くしなさい、というのが倫理の教えです。



## 1、職業奉仕と社会奉仕をどのように区別するのか

非常に誤解を生みやすい言葉があります。それは「自分の職業を通して社会に奉仕するのが職業奉仕である」という言葉であり、このように思われている方が非常に多いのです。自分の職業を通そうが通すまいが、社会に奉仕するので、この奉仕活動は社会奉仕です。それでは、この中に職業奉仕が含まれていないのかというとそうではありません。ではどのように区別するのか。それは「受益者が誰であるか」ということで区別することができます。

＜奉仕活動によって、受益者が自分以外の地域の人々、もしくは地域社会の場合は「社会奉仕」でありましょう＞

＜奉仕活動によって、受益者が自分自身の場合は「職業奉仕」でありましょう＞

動物病院を経営しているA会員は、公立幼稚園の砂場における「蟻虫検査」の奉仕活動を行いました。砂場というのは非常に不衛生なところで、野良猫や野良犬が来て糞をします。その中には蟻虫が混じっていることがあり、園児が知らないうちに感染してしまうことがあるそうです。そこで砂場の蟻虫検査をすることにより、より安全な砂場で園児が遊べるよう、園児の健康管理を目的に行いました。

◇例会場 ダニエルハウス 太田市飯田町895 TEL0276-47-1222  
◇例会日 金曜日 12:00~  
◇事務局 〒373-0853 太田市浜町3-6 太田商工会議所会館4階12号室  
TEL0276-48-8231 FAX0276-48-8232  
Eメール ota-chuo@rid2840.jp

会長 大谷 祐三  
幹事 鈴木 孝史  
クラブ広報委員会  
委員長 栄井 孝広  
副委員長 田村 政一

“この奉仕活動において、受益者は誰であるのか？”

自分以外の人々としての受益者は幼稚園児であり、その親です。そして地域社会としては幼稚園であり、教育委員会です。この意味からいうとこの奉仕活動は社会奉仕になります。

次に、この奉仕活動において、自分自身が受益者になるのはどういう場合でしょうか。それは園児の親や幼稚園、教育委員会がA会員に対してどのような感情を持つのかです。自分の職業を通して子供たちの健康管理というものを考え、自分で何が出来るのかを考えて行ったこの砂場の蟻虫検査は、園児の親や幼稚園は、A会員に対し、尊敬の念を持つのに違いありません。それと同時に、A会員は、信用と信頼を「砂場の蟻虫検査」という奉仕活動で自分自身が得るのです。これはお金では決して得ることの出来ないものです。社会奉仕をすることによって、その地域の人々、地域社会から「尊敬と信頼と信用」を自分自身が得るのです。そして自分の職業がその反射的效果として繁栄するのです。これがロータリーの「職業奉仕」です。奉仕活動によって自分自身が受益者になるのです。

社会奉仕と職業奉仕は、以上のように「一対」のものであると考えてもよいのではないのでしょうか。

「最も多く奉仕する者、最も多く報われる」

## 2 「職業奉仕」という言葉の問題

「職業」とはお金を儲けるための手段です。私たちが生きていくための所得を得る手段であり、これは「自分のためのもの」です。一方「奉仕」とは世のため人のためのものであって、すなわち自分以外の「人のためのもの」です。

このように全く正反対の2つの言葉が1つになって職業奉仕と叫んでいるために非常に解かりにくいのです。「職業奉仕」という言葉は、「職業」すなわち金を儲けることであり、「奉仕」すなわち世のため人のために尽くすことです。つまり、ロータリーの職業奉仕とは、「職業を営むこと（金を儲けること）が、世のため人のための奉仕となる」と言っているのです。ここが職業奉仕にとって一番難解な点です。「職業奉仕は永遠の謎になってしまう」のです。

そこで、この問題を理解するために、職業を営む心（金を儲ける心）も奉仕の心（世のため人のために尽くす心）も同じ一つの心であると思ってください。そして、この一つの心とは、すなわち「世のため人のために奉仕をする心を持って職業を営むべし」と考えます。

この言葉は何を意味しているのかというと、それは自分の金儲けに対して「人を泣かせるような金儲けをしてはいけない、人をだまして金儲けをしてもいけない、非道德的、非社会的行為をして金儲けをしてはいけない、世のため人のためになるような金儲けをしなければならない」と言っているのであり、自分の職業に対して強く「倫理性」を要求しているのです。

職業奉仕とは、職業倫理の運動です。これが最初に述べた「ロータリー運動は倫理運動である」という言葉の意味です。すなわち「ロータリー運動は職業倫理を迫る運動である」ということです。ロータリーにとって職業倫理は基本的な考え方であり、ロータリーの哲学でもあります。

職業の心（自分のためのもの）と奉仕の心（自分以外の人のためのもの）は相反する心であり、職業が同時に奉仕とは考えられず、それぞれは別の世界に存在するものであり、そのため彼らの行動から個人の職業倫理を排除しています。しかしロータリーは奉仕の基礎を職業倫理に置き、職業の心（自分のためのもの）も奉仕の心（自分以外の人のためのもの）も一つの心だと考えます。

そのため一つの心を持って職業を営み、かつ奉仕をすると説いています。だからロータリーにおいて倫理に反する儲けは存在しません。

もし、非倫理的儲けにおいて儲けたお金が奉仕に使われていたとしたら、果たしてそれが真の奉仕といえるでしょうか？ もし、だまされ、泣かされたお金の一部が奉仕に使われていたとしても、他団体は問題にしません。なぜなら彼らの標語は「Not I serve, but We serve」なのです。個人では奉仕をせず、クラブが奉仕をするのです。個人の倫理については何も言いません。強いていえばクラブとしての倫理です。一方ロータリーの標語は「I serve」です。

奉仕は個人の職業倫理において、奉仕の心を職業社会に実践するものです。クラブはその集合体であり、ロータリークラブとしての職業奉仕の実践機能はなく、団体奉仕という概念はありません。ロータリーに入会されるとき、クラブ全会員に対して、その人が入会してもよいかどうかを問う投票が行われます。

もし不適格であると会員の誰かが判断したならば、その人は入会を許されません。ロータリーは入会に際しても、その人の倫理性を問うのであり、他団体にはこういう機能はありません。これが他団体とロータリーとの大きな相違点です。

### 3、職業奉仕の実践

私は最初に「ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にあり」と述べました。他団体の会員は「ロータリークラブは毎週毎週、なぜ例会を開くのですか？私たちは1ヶ月に2回例会を開催するだけです。ロータリーは例会で食事をし、話を聞いて、寄付をします。ロータリークラブというのは金持ちの暇人の集まりですね。」とよく言います。この言葉に対して、我々は強く反論しなければなりません。

ロータリーの例会は食事をするために出席するものではありません。卓話を聞くために出席し、卓話を聞いて職業倫理を学ぶのです。我々は職業人の集まりです。例会に出席することにより、職業人同士の体験談、知識、知恵等を耳にし、職業倫理を互いに学びあうのです。

卓話は聞いては忘れ、聞いては忘れてしまうものなのですが、しかし何度も何度も聞き、そして忘れていくうちに、次第に自分自身が磨かれ、ロータリー（職業倫理）が身についていくのです。そのため、ロータリーは毎週例会を開いているのです。

まず、ロータリアン自身の心を磨かなければ、ロータリアン自身の倫理を高めなければ、世の中に倫理を提唱することはできません。したがって、ロータリーは毎週例会があるのです。これが社会奉仕だけを目的とする団体や単なる寄付団体や慈善団体ならば、毎週例会を開く必要はないでしょう。

極端なことを言えば半年に1回総会を開けばよいのです。例会に出席しなくても寄付さえしておけばよいのです。しかし、ロータリーは単なる寄付団体や慈善団体ではありません。ロータリアンの心の開発を第一義とする団体です。

人作りなのです。社会奉仕だけを目的とする団体ではありません。ロータリーの職業奉仕の実践は、まず倫理を迫及する例会出席に始まるのです。すなわち、職業奉仕の実践は、例会に出席することから始まるのです。

以上が「職業奉仕とは何か」との話です。この3つの問題点を理解していただいたならば、職業奉仕の基礎的な考え方はほぼ理解できるのではないかと思います。

## 来訪者紹介



石井 道康 (いしい みちやす) 様      増岡 透子 (ますおか とうこ) 様  
足利東ロータリークラブよりお越し頂きました。

## 本日の行事

### 1. 「6月誕生祝・創立発表」

【誕生祝】坂本 篤 (8日) 田村政一 (10日) 深川博淳 (13日) 森田健夫 (30日)

【創立発表】深川博淳、石塚 栄、大谷祐三、吉岡 努、家泉栄一、金井 栄



### 2. 「年間出席100%表彰」

【表彰者】滝本俊雄、尾関正俊、蛭田義徳、荒牧功二





## 1. 報告事項

①6月のロータリーレートは、1ドル=110円です。

## 2. 連絡事項

A. 申し込み・回覧・出欠確認等

B. 分区内の例会変更：太田、太田西、館林、館林西、  
館林ミレニアム

分区外の例会変更：前橋北、前橋東、伊勢崎、  
伊勢崎東、沼田中央、富岡、  
藤岡、安中、富岡中央、藤岡南、  
富岡かぶら

C. 会報：太田南 ガバナ一月信6月号



## クラブアッセンブリー

## 「会長・幹事1年間のまとめ」



まだ1ヶ月残っていますが、大谷会長、鈴木幹事、1年間お疲れ様でした！

